

(注) 本相場見通しは、投資に関する断定的判断を提供、またその内容に関する責任の一切を負うものではありません。投資の最終判断はご自身でお願い致します。

配信停止をご希望の方は、こちらまで

<http://r26.smp.ne.jp/o/Pg/50361/HBa9CdH7ci0D/out?stop=ldog>

「オバマ大統領就任式を目前に米国はお祭り騒ぎ、ドル円は 91.30、91.66 円がポイント」
グローバルインフォ代表取締役 和田仁志氏

先週のドル円は、下値を探る展開が続きましたが、週末にかけてショートカバーで値を戻す動きとなりました。週明けから 90 円台の重さを意識する動きが強まり、一時 88.48 円の安値をつけましたが、週末に 90 円台に乗せた後は底堅い値動きとなり、クロス円中心に買い戻しが強まりました。一時 90.92 円の高値まで買われました。ダウは、15 日に一時 8000 ドルを割り込む場面もみられましたが、結局 8200 ドル台まで回復して取引を終えています。また、ユーロドルはロシアとウクライナをめぐる天然ガス問題が上値を重くする中、S&P による欧州諸国に対するソブリンの格下げ報道が相次ぎ、ECB の利下げが行われた 15 日には、一時 1.3025 ドルの安値まで売り込まれました。ただ、週末にかけては、クロス円の買い戻しが強まったことで 1.33 ドル台半ばまで値を戻しました。

ところで、先週相次いだ S&P のソブリン格下げについては、市場関係者の間では様々な憶測を呼んでいるようです。先ず先陣を切ったのは、12 日のスペインソブリンの長期格付けの格下げ方向への見直しでした。翌日にはポルトガルソブリンも格下げ方向で見直しが発表され、14 日にはギリシャソブリンが実際に引き下げの憂き目にあうことになりました。連日の欧州各国のソブリン引き下げは、市場参加者を驚かせたうえ、イタリアなどの G7 諸国の引き下げにつながる恐れがあるとの観測を台等させています。週末の海外市場では、「S&P では、今般の大規模財政支出の影響を慎重に検討する必要がある」、AAA 格の国債見直しに着手している」と S&P 関係者が漏らしたとの噂も流れており、米

国ソブリンに対する市場の懸念が今後も高まってくるのは避けられそうもありません。米上院では、すでに 8000 億ドルを超える「米国再生再投資策」のドラフトが出来上がり、これをたたき台として折衝が続いています。また、週末にはシティに続き BOA も米国政府による不良債権の保証と公的資金の投入を受けることが決定しており、実質的国有銀行の登場となりました。さらに、週末明らかになったオバマ次期政権での「バッドバンク」構想も、当然新たな大規模財政支出を伴うものとなり、3 連休の米国がオバマ大統領就任式を前にして、お祭り騒ぎとなっている光景をみると滑稽に映ります。

さて、今週のドル円は週末から買い戻しが続いています。21 日にその行使日を迎える、90.00 円の大量にあるプットオプションの存在が大きく影響しそうです。先週も 90.00 円をめぐる攻防が見られたように、今週も 90.00 円が近づくとつれて再度神経質な動きと

なるでしょう。19日朝方には91.33円の高値まで上昇していますが、オプションの存在が一方向への動きを抑制させており、一目均衡表転換線が位置している91.30円は、テクニカル的な戻りの目処としてポイントとなっています。また、9日の米雇用統計時に付けた最後の戻り高値である91.66円も、非常に重要な戻りの目処となっています。このレベルを抜けてくるようであれば、92円台半ばまでの戻りも期待できる相場展開となるでしょう。20日のオバマ大統領就任式後の株式市場を見極める必要がありますが、21日のオプション行使日が過ぎた後からは、もう少し動きが激しくなると予想され、週末にかけて注意が必要です。ユーロドルは、先週末に一目均衡表雲の上限を上抜けてきました。今週は戻りを試しにいく動きが予想されます。下値では、50日移動平均線が位置している1.3260ドルが目先の目処となっており、買い下がりたいところです。今週の経済指標では、19日がキング牧師の誕生日とあって米国は休場となっています。翌20日にはオバマ米大統領の就任式と続きますが、米国では22日に12月住宅着工件数、12月建設許可件数と住宅関連指数が予定されています。また、日本では21日から22日にかけて日銀金融政策決定会合が開催されますが、一部市場関係者が期待しているゼロ金利への利下げは現実的ではなさそうです。前回示された、CP買い取りスキームや国債の買い取り方法についての具体的方法が検討されることになるでしょう。日銀としては、量的緩和からの出口政策で苦しんだ苦い経験があることから、準備預金の超過分への付利が維持されている限り、実質ゼロ金利となっていることで、表面上の政策金利を動かすことはないでしょう。

エース取引株式会社 オンライントレード部マーケティング担当

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-29-24 エースファーストビル

TEL:03-5485-4079 FAX:03-5485-5081

mail: fxmail@acekoeki.co.jp

ホームページ <http://www.acekoeki.co.jp/>

- ・ジャスダック証券取引所上場（銘柄コード：8749）
- ・金融商品取引業者：関東財務局長（金商）第251号
- ・（社）金融先物取引業協会会員 / （社）日本商品投資販売業協会会員

本外国為替証拠金取引「エースでねえ！FX」（以下、本サービス）を提供する者の名称はエース取引株式会社（登録番号：関東財務局長（金商）第251号）、社団法人金融先物取引業協会および社団法人日本商品投資販売業協会に加入している金融商品取引業者です。

本外国為替証拠金取引「エースでねえ！FX」は商標登録出願中のサービス名称です。本サービスは証拠金による取引であり、実際の取引金額は証拠金の額に比して大きいため、少額の資金で大きなポジションを保有することが可能ですが、その損失の額が当初預託していただいた証拠金額を上回る可能性があります。

各国の政治、経済状況の変化及びそれに関連する金融市場の変化、金利相場、外国為替相場の変動、スワップポイントの支払い、およびレバレッジを高めた場合、預託した証拠金の損失、若しくは預託した証拠金を上回る損失となる可能性があります。

本サービスの最低取引単位（1枚）は1万または10万通貨単位です。売買手数料は無料、預託していただく証拠金の額は、1枚あたり4,000円～2,200,000円で、通貨ペアの種類等により決まります。

現受けの際は1通貨あたり50銭の手数料および5,000円の送金手数料がかかります。

本サービスでお取引を始める際の証拠金に対する取引金額の比率は、約1倍～約200倍（2008年12月1日現在）で、日々の為替レートや証拠金額の変更等で異なります。

当社が提示する各通貨の価格及びスワップポイントは、売付けと買付けの価格に差があります。

> ご契約の際は契約締結前交付書面を十分お読みになり、リスクや取引の仕組み等の内容をよくご理解いただき、ご自身の判断と責任においてお申込みください。

> お客様のご相談につきましては、当社本社内/営業管理部顧客サービス担当（電話：03-5485-4161）、若しくは金融商品取引苦情相談窓口（電話：0120-64-5005）までどうぞ。

本メールはお客様への情報提供のみを目的として作成したものであり、投資の勧誘並びに、断定的な投資判断の提供を行うものではありません。また、本メールの内容の利用に際しては、お客様ご自身の判断と責任でなされますようお願い申し上げます。本メールは信頼できるとされる各種データに基づき作成していますが、エース取引株式会社はその正確性及び完全性に関して責任を負うものではありません。また、本メールに記載されている内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。本メールは宛先名にあるお客様に限りご利用ください。従って、メール内容のいかなる部分も複製または転送等を行わないようお願いいたします。また、送信上の誤操作により、受信される予定でない方に配信されました場合は、送信者までお知らせいただき、受信された本メールは削除下さいますようお願いいたします。電子メールの特性上、送信過程で内容欠落、送信遅延、ウィルスの混入その他の不都合が生じることがございます。これらにつきましてエース取引株式会社は責任を負いかねますのでご了承下さい。また、エース取引株式会社は本メールの送信先宛先を閲覧する権限を持っています。

お客様の個人情報は、当社の個人情報保護ポリシーに基づき、適切に管理させていただきます。

・個人情報保護ポリシー: <http://www.acekoeki.co.jp/site/privacy.html>

弊社に関するお問い合わせは下記URLよりお願いいたします。

<http://www.acekoeki.co.jp/site/form.html>

All Rights Reserved, COPYRIGHT(c) ACEKOEKI LIMITED 2008
